

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	七沢森林公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

植物管理や施設管理が行き届いており、伐採木の有効活用、地域と連携した取組み、落葉掻き等のヤマビル対策など、来園者の視点に立った、提案を上回る優れた取組みを実施し、広報活動にも積極的に取り組むことにより公園の魅力向上が図られている。また、上記取組みを実施しつつも良好な収支状況であり、利用者満足度調査結果や苦情の対応状況も良好であることからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月28日	○	○	○	無	
5月	6月8日	6月25日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月27日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月31日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月28日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月22日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>快適な利用環境の確保・施設全般の安全管理 植物管理を以下のとおり実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャクナゲ管理 ・高木管理 <p>施設管理を以下のとおり実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常巡視（園内全域：毎日：公園職員） ・施設点検パトロール（園内全域：年1回：公園職員） ・重点点検（重点箇所：随時：公園職員） ・遊具安全点検（遊具：月1回以上：公園職員） ・遊具定期点検（遊具：年1回：専門業者による） ・各施設・法定点検（各施設：各施設ごと：公園職員または専門業者） 	<p>①植物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当園の名所となっているシャクナゲを維持するため、花殻摘み・施肥などを実施した。 ・倒木や落枝の危険性があるものは、職員または委託により伐木等の対応を速やかに行っている。 ・快適な環境を提供するために、広場等の芝刈りや園路沿いの草刈りをこまめに行っている。 <p>②施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内施設は点在しているが、管理が行き届いており、来園者の満足度が高い。 ・提案した点検を着実に実施し、階段の破損など危険な箇所を発見した場合は迅速に対応しており、来園者の安全確保が図られている。 ・施設の不具合による事故は発生していない。

	提案内容	実施状況
2	<p>ゼロエミッションへの取り組みによる植物管理 公園内の間伐材等を用いて、以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内整備への活用 ・薪を使った野外料理イベントを開催 ・間伐材を炭にして、トイレの消臭材等に活用 ・木酢液をヤマビル対策へ活用 ・落ち葉を集積し、カブトムシ等の生息場所の創出 	<p>①森林整備により発生した間伐材を職員が製材し、土留め板、ベンチ、クラフト材料にし、枝はチップ化して整地に活用するなど園内整備に使用している。</p> <p>②月2回、薪を用いた野外クッキングを実施している。</p> <p>③指定管理者が炭焼窯を作成し、間伐材を炭にして、トイレの消臭剤や土壌改良材として活用している。</p> <p>④木炭化の過程で発生する木酢液を園路に散布し、ヤマビル対策に活用している。</p> <p>⑤園内6カ所に堆肥ボックスを作成し、落ち葉を集約し、昆虫の生息場所を創出している。</p> <p>⑥7月に開催した夏休み虫かごづくりのイベントでは、堆肥ボックスから採集したカブトムシを使ったふれあい体験を行っている。</p> <p>⑦園内の発生材はすべて園内処理しており、徹底した循環型管理が当公園の特色となっている。</p>
3	<p>イベントや住民参加、ボランティア団体による協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくら祭り ・里山保全 ・健康作り ・自然体験 ・自然音楽 ・文化継承 ・美化運動 ・花の名所づくり ・七沢温泉郷と連携した、観光資源の創出。 	<p>住民参加とボランティア団体と協働して、次のような積極的な取り組みを行っている。</p> <p>①春に開催した「さくら祭り」には地元自治会にも参加してもらうだけでなく、地元グループによるハワイアン演奏、森のアトリエで活動しているオカリナグループの演奏なども行った。</p> <p>②里山保全のための森林管理を、地元ボランティア団体と協働で実施している。</p> <p>③NPO団体との協働による森林セラピー体験ウォークやノルディックウォーク教室を実施している。</p> <p>④玉川アルプホルンクラブと協働した森の癒しコンサートを実施した。</p> <p>⑤民話の語りやわらべ唄のイベント実施により文化継承を実施している。</p> <p>⑥公園入口にある花壇の苗植えを、地元の幼稚園と協働で実施した。</p> <p>⑦駐車場利用者、バーベキュー利用者、有料イベント参加者には七沢温泉郷の日帰り入浴割引券を配布している。</p> <p>⑧七沢温泉郷の宿泊者には、旅館で七沢森林公園のクラフト・陶芸・楽焼体験やバーベキュー炉の割引券を配布している。</p>
4	<p>楽しく快適な利用環境の確保 園路やおおやま広場などの芝生にもヤマビルの進入があるため、以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝刈り等の徹底による乾燥状態の確保。 ・園路等への忌避剤の散布。 ・利用者に対する忌避剤の提供。 	<p>①ヤマビルの生息しにくい乾燥状態を確保するため、芝刈り、草刈り、落ち葉掻きを徹底して行っている。</p> <p>②特に園路沿いの草本の生育状況に注意を払い、こまめに草刈りを実施している。</p> <p>③園路等には、木酢液などのヤマビルの忌避剤を散布した。</p> <p>④ヤマビルへの注意喚起の看板を設置している。</p> <p>⑤園内の13カ所に忌避剤として食塩と食酢を置き、公園利用者が自由に利用できるようにしている。</p> <p>⑥これらの対策によって、ヤマビル被害は着実に減少している。</p>
5	<p>利用促進のための広報の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改編と更新 ・園内掲示板 ・パンフレット ・厚木市公報 ・観光協会等との連携 ・ミニコミ誌等 	<p>①見やすく分かりやすいホームページに改編し、常時更新している。七沢森林公園サイトおよび公園協会サイトで公園情報(場所、特徴、利用案内)や季節の見頃・見所情報をタイムリーに発信している。</p> <p>②園内の掲示板で、森アトリエの体験案内やイベント情報などを掲示している。</p> <p>③事務所前のホワイトボード等で、花や鳥など旬の自然がわかるようにしている。</p> <p>④パンフレット類を最新情報に改訂し、厚木市や地元観光協会等に配布している。</p> <p>⑤その他市の公報やタウンニュース等を活用して、広報活動を行っている。</p> <p>⑥作成したチラシを厚木市立公民館、観光案内所、都市公園などで配布してもらっている。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		76,610	—	4,750	81,360	81,360	0
予算額	前年度	74,220	—	4,500	78,720	78,720	0
	上半期	37,746	—	3,300	41,046	41,046	0
	下半期	36,474	—	1,200	37,674	37,674	0
	今年度	74,220	—	4,750	78,970	78,970	0
	上半期	36,112	—	3,430	39,542	39,542	0
	下半期	38,108	—	1,320	39,428	39,428	0
上半期実績額	4月	5,195	—	623	5,818	6,027	▲ 209
	5月	5,853	—	753	6,606	6,246	360
	6月	7,776	—	362	8,138	7,712	426
	7月	5,547	—	438	5,985	5,748	237
	8月	5,760	—	392	6,152	6,479	▲ 327
	9月	5,981	—	425	6,406	5,433	973
	今年度 上半期合計	36,112	—	2,993	39,105	37,645	1,460
	前年度 上半期合計	37,746	—	2,830	40,576	36,282	4,294
	対前年度上半期比				▲ 3.6%	3.8%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	998	ふれあい広場の階段2箇所への手すりの設置等
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等で
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	26,382 人	22,394 人	17.8 %
5月	26,840 人	28,334 人	▲ 5.3 %
6月	18,059 人	19,558 人	▲ 7.7 %
7月	17,652 人	19,157 人	▲ 7.9 %
8月	21,022 人	20,997 人	0.1 %
9月	19,203 人	23,047 人	▲ 16.7 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	118,000 人	129,158 人	133,487 人	9.5 %	▲ 3.3 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)					

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
5月10日	木材加工作業中の公園職員が、使用中のベルトサンダーで脚をケガした。	近くの病院で治療を行った。再発防止に向けて事故対策のミーティングを行うとともに、軽量で扱いやすいベルトサンダーを購入した。	重いベルトサンダーを不安定な状態で使用していたことが原因であり、再発防止策の徹底を口答で指示した。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

七沢森林公園は、市街地から近く、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園として60種ほどのシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸創作体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、山里の暮らしが分かる「森の民話館」が人気の施設であるが、指定管理者の努力で植物管理や施設管理が行き届いているため、来園者の満足度も高い。

特に、「ゼロエミッションへの取組みによる植物管理」として公園の間伐材を使用して、土留め板など園内整備、薪を使った野外料理イベントの開催、炭を作って園内で活用していること、炭焼きの際に出る木酢液によるヤマビル駆除など独創的な工夫を行っている点や、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き、忌避剤の散布等の努力によりヤマビル被害が軽減している点が評価できる。

今後ともこうした取組みを継続するとともに、さらなる工夫改善を行い、来園者数、特にイベントへの参加者数の増加につなげていくよう指導していく。